

21年12月期に売上194億

新たな収益基盤を構築

いでは1日、2019年

を安定的に維持するためのさ

「社会の価値観やニーズが急

分野の強化▽海外事業の拡大

から新たに「技術開発本部」

12月期から3力年の第4次中

らなる基盤強化と、将来の新

激に多様化し高度化する中で

と海外展開の推進▽民間・個

を設置。防災・減災対策に専任

期経営計画の概要を明らかに

たな収益基盤構築のための準

グループの人材、技術力、施

人市場への展開、ものづくり

で対応する部署も新設する。

した。前計画に引き続き「イ

備期間と位置付けた。計画最

設・設備、情報などの経営資

の推進▽IoT・ロボット・

技術開発と人材育成に積極的

ノベーションとマーケティング

終の21年12月期での数値目標

源を最大限に集約・活用して

AIなど先端技術の利活用▽

技術開発と人材育成に積極的

グによる市場創生・新規事業

は連結売上高194億円、営

業利益率10%程度、当期純利

働き方改革の推進▽組織の一

体化・効率化とガバナンス体

の展開と海外事業の拡大」を

業利益率5%以上と設定してい

昌広社長も「目標達成に向け、

制の強化――を挙げた。

具体的な取り組みでは、市

スローガンに掲げ、創立70周

年を迎える23年に連結売上高

特に基幹事業分野の強化と併

せて新規事業の創出・新市場

の業績拡大を目指す。

200億円、当期純利益率5

%以上(営業利益率10%程度)

同日開いた18年12月期決算

の開拓と技術開発の推進に注

力していく」と語った。

説明会で田畑日出男会長は

「社会の価値観やニーズが急

激に多様化し高度化する中で

人市場への展開、ものづくり

から新たに「技術開発本部」